

---

# 浴 革

---

1971年4月 (昭和46年)	予防医学事業推進のため神戸市医師会と神戸市衛生局が協議、渡邊一九志賀一清 青井立夫 石垣四郎 鹿野昭二 前島健治らが発起人となり「兵庫予防医学協会」を創立 事務所を神戸市生田区加納町1丁目5神戸市衛生研究所内に置く 会長 渡邊一九就任 児童・生徒の寄生虫卵検査開始	7月	機関誌「あすの健康」第1号発行 法人設立記念講演会として「健康を守る婦人大会」を開催
6月	「兵庫県予防医学協会」と名称を変更	9月	登録衛生検査所となる
9月	財団法人予防医学事業中央会及び財団法人日本寄生虫予防会の兵庫県支部となる 灘神戸生活協同組合 組合員健診開始 児童・生徒の尿検査開始、血液型検査開始	10月	灘神戸生活協同組合より健診車・X線車生協すこやか号の寄贈を受ける
11月	予防医学講演会開催	11月	社団法人全国労働衛生団体連合会加入
1972年4月 (昭和47年)	事務所を神戸市東灘区御影本町6丁目5-2（旧御影町役場）に移転	1974年4月 (昭和49年)	循環器検診、住民健診、予防接種開始
5月	診療所開設、健診・検査開始	8月	灘神戸生活協同組合 各店舗事務所基準環境測定開始 灘神戸生活協同組合従業員健診開始
7月	事業所の定期健診、特殊健診開始	1975年10月 (昭和50年)	健康保険法 保険医療機関となる
11月	神戸市胃部X線車による、胃がん検診開始	11月	国民健康保険法 保険医療機関となる
12月	「神戸市子宮がん細胞診センター」業務開始	1976年5月 (昭和51年)	創立5周年記念「健康をめざす婦人大会」開催 基本財産を増額し、1,500万円となる
1973年6月 (昭和48年)	「財団法人兵庫県予防医学協会」設立 基本財産 1,200万円 出捐は 兵庫 県 300万円 神戸 市 500万円 灘神戸生活協同組合 100万円 渡邊元会長 100万円 兵庫県予防医学協会 200万円	6月	第1回予防医学講座開催
		9月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか3号の寄贈を受ける
		12月	国民健康保険被保険者対象 胃検診開始
		1977年7月 (昭和52年)	細菌検査部門開設
		10月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者特殊健康診断機関となる
		12月	兵庫労働基準局作業環境（測定粉じん）測定登録機関となる
		1978年4月 (昭和53年)	葺合区仮施設へ移転
		8月	新館建設 資金 日本船舶振興会 7,020万円

	兵庫県	1,500万円		6月	作業環境測定に「有機溶剤・金属・特定化学物質」を追加
	神戸市	2,000万円		8月	脊柱検診専門委員会設置
	借入金	22,000万円			予防医学事業推進全国大会において、渡邊会長が感謝状を受ける
	自己資金	3,380万円		1981年3月 (昭和56年)	胃検診専門委員会設置
	計	35,900万円		4月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者健康管理事業助成制度に係る健診機関となる
	鉄筋コンクリート5階建				日本作業環境測定協会加入
	敷地面積	654㎡			人間ドックに超音波診断追加
		(神戸市より借地)		5月	兵庫県 建築物衛生的環境確保に関する法律（ビル管法）による建築物飲料水水質検査業・空気環境測定業の登録機関となる
	建築面積	443.82㎡		7月	日本作業環境測定協会 中小企業協同作業環境管理事業助成制度による作業環境測定機関となる
	建築床面積	2,117.5㎡			予防医学事業中央会 関東・甲信越ブロック、東海・北陸・近畿ブロック合同会議開催
1979年1月 (昭和54年)	厚生大臣指定 簡易専用水道検査機関となる				寄生虫対策国際セミナー台湾、韓国研修団ブロック会議に特別参加
3月	兵庫県知事登録 空気環境測定・飲料水の水質検査機関となる			9月	循環器検診専門委員会設置
4月	新館竣工				日本自転車振興会補助事業 胸部直間両用胸部検診車すこやか6号完成
5月	中央労働災害防止協会 中小企業労働者健康管理事業助成制度「じん肺・石綿・クロム・鉛」に係る健康診断機関となる			1982年5月 (昭和57年)	整形外科検診開始
7月	婦人科検診開始 喀痰細胞診開始 胃部精密検査開始			9月	病理組織検査開始
10月	成人病総合健診『人間ドック』開始				文部省研究補助事業により県北部学童3年計画心臓検診「心音心電図方式」開始
11月	間接断層X線撮影装置による肺がん検診開始 肺がんをなくす会発足			1983年1月 (昭和58年)	学校腎疾患専門委員会設置
1980年2月 (昭和55年)	予防医学事業推進 近畿・北陸・東海ブロック検査室会議開催				
4月	脊柱検診開始 消化器内視鏡検査開始 公益法人会計基準による会計に移行				
5月	渡邊会長、吉田哲夫医師叙勲受章				

4月	健康教育・指導室新設	5月	中央労働災害防止協会 中小企業共同安全衛生改善事業助成制度に係る作業環境測定機関となる
8月	神戸市長より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける	6月	全国労働衛生団体連合会 鉛検査機関となる
1984年1月 (昭和59年)	日本船舶振興会補助事業 胃部X線検診車すこやか22号完成 財団設立10周年を記念として協会章(襟章)を作成	9月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか12号完成
3月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか7号の寄贈を受ける	10月	VDT検診開始
5月	厚生大臣指定 食品検査機関となる 保健環境検査センターを開設し環境化学分析、細胞診等の検体検査部門を統合	11月	予防医学事業推進神戸大会開催
7月	全国飲用牛乳取引協議会指定検査機関となる	1987年4月 (昭和62年)	ビル管法適用施設について簡易専用水道検査の「書類検査」開始 レジオネラ属菌検査開始
8月	兵庫県小児保健協会事務局を引き受ける	9月	保健環境検査センター東灘区田中町へ移転 登録衛生検査所再登録
1985年3月 (昭和60年)	骨粗鬆症検診MD法により、全国初の検診を開始	11月	第2回予防医学事業推進神戸大会開催 予防医学事業推進 近畿・東海・北陸ブロック会議開催
4月	学校心臓検診「心音心電図検査」開始	1988年2月 (昭和63年)	予防医学事業中央会全国業務研修会開催
8月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか9号の寄贈を受ける	4月	ホロンピア'88「新しい健康福祉づくり展」参加 船員災害防止協会 訪船衛生技術指導指定期間となる
9月	神戸市長よりユニバーシアード神戸大会への貢献に対し、感謝状を受ける	5月	神戸新聞奨励賞受賞
10月	予防医学事業推進全国大会開催 主催 予防医学事業中央会・日本寄生虫予防会・兵庫県予防医学協会	6月	大腸がん検診(任意型)便潜血2日法開始
1986年1月 (昭和61年)	骨粗鬆症検診システム設置	7月	政府管掌健康保険成人病予防健診機関となる
3月	心電図自動解析システム設置	12月	第3回予防医学事業推進神戸大会開催
4月	神戸市学校結核検診全面受託	1989年3月 (平成元年)	基本財産を増額し1億円となる 出捐は 兵庫県 300万円

	神戸市	3,400万円		10月	予防医学事業中央会全国大会において、青井会長が感謝状を受ける
	灘神戸生活協同組合	670万円		11月	日本自転車振興会補助事業 肺がん検診車すこやか10号完成
	渡邊元会長	100万円			タイで行われた第16回APCO（アジア寄生虫予防機構）研修会参加
	兵庫県予防医学協会	5,530万円		12月	事務所棟建設のため天長島村酒造株式会社と1,490,08㎡の借地契約締結
9月	フェスピック神戸大会組織委員会より大会への貢献に対し、感謝状を受ける		1993年6月 (平成5年)	6月	中央労働災害防止協会 労働者健康保持増進サービス機関となる
	郵政省補助事業 胃X線車すこやか23号完成			9月	事務所棟竣工 建築面積 477.15㎡ 建築床面積 1,249.15㎡
10月	労働安全衛生法改正により特殊健診に尿代謝物・血中鉛等の生体試料検査追加、定期健診に心電図・聴力検査・血液検査追加			12月	厚生大臣指定水質検査指定機関となる
12月	予防医学事業推進神戸大会を改称し、'89予防医学フォーラムを神戸新聞社と共催		1994年1月 (平成6年)	1月	予防医学技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞「一次検診におけるランニング運動付加心電図検査」
1990年4月 (平成2年)	健康ライフプラザ準備室開設			2月	高速らせん型CT装置設置
8月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか19号完成			7月	神戸市より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける
12月	予防医学事業中央会 近畿・東海・北陸ブロック会議開催				兵庫県指定水質検査機関となる
1991年5月 (平成3年)	会長 青井立夫 名誉会長 渡邊一九 就任			8月	公益事業「元気な骨をつくるキャンペーン」を実施
6月	創立20周年感謝の集い開催			9月	第1回いきいきライフセミナー開催
7月	生活協同組合コープこうべよりDXA車すこやか20号の寄贈を受ける			10月	日中医療技術協力に参加
9月	DXA車による巡回骨量測定開始		1995年1月 (平成7年)	1月	阪神・淡路大震災発生 保健環境検査センター全壊
10月	THP推進委員会設置				第29回予防医学事業技術研究集会中止
11月	郵送法式による神戸市大腸がん検診開始				出張健診再開
1992年1月 (平成4年)	予防医学事業中央会 全国生理機能検査研修会開催			2月	外来健診再開 総合健診再開
9月	X線骨密度測定装置（DXA）設置				

	保健環境検査センター代替施設建設決定	8月	日本自転車振興会補助事業 胸部検診車2号完成
4月	中央労働災害防止協会 中小企業安全衛生活動促進事業助成制度による健康診断及び作業環境測定機関となる	9月	超音波骨評価（QUS法）による骨粗鬆検診開始
5月	「元気な骨をつくるキャンペーン」講演会開催	1998年2月 (平成10年)	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ開業に伴う受託事業開始
11月	保健環境検査センター竣工 建築面積 300.76㎡ 建築床面積 837.72㎡	3月	磁気共鳴診断装置（MRI）設置
12月	社会保険庁より政府管掌健康保険及び厚生年金事業発展への功績に対し、青井会長が表彰状を受ける	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザの業務全面開始 脳ドック開始 第1回土曜健康科学セミナー開催 産業保健専門委員会設置
1996年2月 (平成8年)	保健環境検査センターの業務全面開始 登録衛生検査所再登録 第1回働く人の健康管理研修会開催		小児がん検診「神経芽細胞腫」のマス・スクリーニング検査を神戸市から受託
3月	青井会長神戸市市民福祉顕彰市民福祉功労賞受賞	5月	計量証明事業（濃度）開始
5月	厚生大臣指定食品検査機関となる	7月	全衛連近畿地方協議会第1回開催 第1回がんをよく知るための講座開催
8月	創立25周年を記念し『生命・脳・いのち 生きるということ』（神戸大学医学部名誉教授岡田安弘著・東京化学同人社）を出版	9月	日本総合健診医学会 優良総合健診施設に認定される
9月	『25周年記念誌』を発行	12月	ペプシノゲン検査開始 PSA検査開始
12月	日本自転車振興会補助事業 自動血球計数装置設置 予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催	1999年1月 (平成11年)	予防医学技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞「水におけるクリプトスポリジウム検出方法の検討」 乳房撮影装置（マンモグラフィ）設置
1997年4月 (平成9年)	神戸市東灘区御影本町6丁目5-2の土地を神戸市より購入取得	2月	全衛連近畿地方協議会第2回開催
6月	一泊二日ドック開始 超音波骨評価（QUS法）装置導入	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ1泊2日ドック開始
		7月	全衛連近畿地方協議会第3回開催

- |                    |   |                    |   |
|--------------------|---|--------------------|---|
| 9月                 | 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関となる  | 2月                 | 中央労働災害防止協会機器整備補助事業 X線装置導入   |
| 11月                | 社団法人日本作業環境測定協会より作業環境管理への尽力に対し、感謝状を受ける<br>労働衛生評価機構より評価基準達成の認定を受ける                      | 3月                 | 神経芽細胞腫検査専用機更新   |
| 2000年2月<br>(平成12年) | 全国労働衛生団体連合会近畿地方協議会第4回開催   | 4月                 | 財団法人先端医療振興財団 先端医療センターと提携し、人間ドックのオプションとしてPET検診開始<br>神戸市市民健診 肝炎検査受託 |
| 7月                 | 健診センター、労働者災害補償保険法の規定による療養の給付を行う診療所（労働者災害補償保険指定医療機関）となる<br>土曜健康科学セミナー100回を迎える          | 7月                 | 日本財団補助事業 胸部X線車すこやか12号完成   |
| 11月                | 得意先向健診データ管理支援システム「Life-Net」完成<br>健康ライフプラザ 日本総合健診医学会優良総合健診施設に認定される                     | 11月                | 財団法人日本公衆衛生協会 第6回地域保健全国大会（富山県）において、平成14年度公衆衛生事業功労者表彰団体表彰を受ける       |
| 2001年1月<br>(平成13年) | 予防医学技術研究集会学術賞「児玉賞」受賞「超音波による骨量測定の基準値について」  | 2003年2月<br>(平成15年) | 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザレディースドック開始                                    |
| 4月                 | 循環器用超音波システムを導入  | 3月                 | 土曜健康科学セミナー200回を迎える  |
| 5月                 | 創立30周年記念講演会を神戸新聞松方ホールにて開催<br>創立30周年記念『21世紀の「生命」を考える－これからの健康科学』（神戸大学名誉教授岡田安弘編著・金芳堂）を出版 | 4月                 | 神戸市住民健診事業の全面委託を受ける  |
| 6月                 | 労働者災害補償保険（労災保険）二次健診等給付指定医療機関となる   | 8月                 | 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ 甲状腺超音波検査開始                                   |
| 2002年1月<br>(平成14年) | 第36回予防医学技術研究集会「神戸からの発信－予知の医学をめざして」を開催   | 2004年3月<br>(平成16年) | 神戸市灘区岩屋北町2丁目6-4の土地を神戸市より購入取得<br>VDT健診 細隙灯顕微鏡導入                    |
|                    |   | 4月                 | 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査開始  |
|                    |   | 5月                 | 兵庫県予防医学協会 灘分室開設   |
|                    |   | 11月                | 第49回予防医学事業推進全国大会を開催   |
|                    |   | 12月                | 神戸市灘区岩屋北町1丁目8-2の土地を神戸市より購入取得                                      |
|                    |   | 2005年3月<br>(平成17年) | X線骨密度測定装置（DXA）更新  |
|                    |   | 4月                 | 緑内障スクリーニング検診開始  |
|                    |   | 6月                 | NPO法人 J-POSH寄贈 乳がん検診車すこやか55号完成                                    |

2006年1月 (平成18年)	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催	9月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ甲状腺二次超音波検査開始
3月	保健環境センターISO9001 (JISQ9001:2000) 認証取得 AED (自動体外式除細動器) 設置	2009年5月 (平成21年)	デジタルサーバー、PACS導入
4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により受託 神戸市HIV・性感染症検査受託	6月	青井名誉会長神戸市市制120周年記念 神戸市市政功労者表彰受賞
8月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ甲状腺関連血液項目の二次検査開始	8月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザオプション甲状腺セット検査開始
9月	日本自転車振興会補助事業 胃部X線 検診車すこやか21号車完成	2010年1月 (平成22年)	CT装置をマルチスライスCT装置に更新
10月	便中ヘリコバクターピロリ菌抗原検査開始 青井会長第58回保健文化賞受賞	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により受託 (第2期)
2007年2月 (平成19年)	プライバシーマーク認証取得	6月	採血管準備システム導入
3月	KEMSこうべ環境マネジメントシステム (ステップ1) 認証取得	7月	X線骨密度測定装置 (DXA) 更新
5月	土曜健康科学セミナー300回を迎える 会長 近藤武久 名誉会長 青井立夫 就任	8月	会長 松村陽右 就任
7月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ、トレーニングジム 利用者100万人達成	2011年1月 (平成23年)	財団法人JKA補助事業 胸部デジタルX線検診車すこやか17号完成
10月	特定健診・特定保健指導事業推進本部の設置	2月	予防医学技術研究会議を開催
2008年3月 (平成20年)	ノロウイルス検査 (リアルタイムRT-PCR法 = 遺伝子検出) 開始 神戸市灘区岩屋北町の土地 (新館建設予定地) のJR西日本株式会社との 取得・処分実施	3月	子宮がん細胞診液状検体処理装置導入
4月	神戸市住民健診から特定健診・特定保健指導制度に移行	4月	集団検診方式による神戸市大腸がん 検診開始
		7月	基本財産を増額し255,979千円となる 出捐は
			兵庫県 3,000千円
			神戸市 34,000千円
			生活協同組合コープこうべ 6,700千円
			渡邊一九前名誉会長 1,000千円
			兵庫県予防医学協会 211,279千円
		10月	土曜健康科学セミナー400回を迎える



2012年8月 (平成24年)	神戸市灘区岩屋北町に、新館建設着工 鉄筋コンクリート5階建 敷地面積 4,429.91㎡ 建築面積 1,697.74㎡ 建築床面積 6,970.54㎡	9月	いきいきライフドック開始
12月	会長 南部 征喜 就任	12月	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催 旧2、3号館の借地を天長島村酒造株式会社に返還
2013年4月 (平成25年)	公益財団法人へ移行	2015年4月 (平成27年)	神戸市けんしん案内センター業務受託 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ 神戸市国民健康保険加入者対象のセット健診（特定健康診査とがん検診）開始 トレッドミル走行装置更新
11月	新館竣工 建築面積 1,697.74㎡ 建築床面積 6,970.54㎡	6月	神戸市市民健診 慢性閉塞性肺疾患（COPD）リスクチェック開始
12月	健診センター 診療所開設	11月	メンタルヘルス事業 ストレスチェックシステム導入
2014年1月 (平成26年)	健診センター落成 保険医療機関指定 協会けんぽ健診実施機関指定 御影健診センター改修工事開始 予防医学事業中央会学術賞「児玉賞」受賞「X線学的胃粘膜萎縮度について－胃がん検診におけるハイリスクストラテジーとしての一考」	12月	認知症予防事業開始 機関誌「あすの健康」100号発行 禁煙外来開設 日本宝くじ協会助成事業 乳がん検診車すこやか56号完成
3月	MRI装置を1.5T 磁気共鳴断層撮影装置に更新	2016年3月 (平成28年)	土曜健康科学セミナー500回を迎える
4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザを指定管理制度により(株)オーグスポーツ、(株)日立ビルシステムとの共同体で受託（第3期） 肺ドック開始 要介護予防事業の一環として「頭にいいラジオ」（ラジオ関西）放送開始	4月	循環器ドック開始
6月	御影健診センター竣工 建築面積 443.88㎡ 建築床面積 2033.95㎡	5月	腸内細菌検査マルチPCR装置導入
		2017年3月 (平成29年)	もの忘れリスク健診開始
		4月	神戸市子宮頸がん検診 液状処理細胞診（LBC法）開始 神戸市市民健診予約受付センター業務の外部委託開始 機関誌「あすの健康」連載『赤ちゃんの四季』（神戸大学名誉教授中村肇著・神戸新聞出版センター）を出版

	石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査事業を神戸市より受託	2月	マンモグラフィ デジタルX線撮影装置更新
6月	会長 石原 享介 就任 液状処理細胞診（LBC）標本作製装置一式導入 脊柱デジタル撮影装置更新	(令和元年) 3月	PACS・レポートシステム導入
12月	神戸市胃がん検診 胃内視鏡検査開始	12月	基幹システムハードウェア更新 各種ソフトウェアWindows10対応完了
2018年 3月 (平成30年)	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ 指定管理制度終了	2020年 2月 (令和2年)	予防医学事業中央会学術賞「児玉賞」受賞「健診に組み込まれた禁煙サポートー禁煙成功要因の検討」
4月	健康ライフプラザ健診センター 神戸市HIV抗体・性感染症検査開始	3月	新型コロナウイルス感染拡大防止の見地から、神戸市民健診集団検診が中止となる
5月	健康ライフプラザ健診センター 神戸市国民健康保険特定健診対象者への神戸市国保特定健康診査結果説明会開始	4月	健康ライフプラザ健診センター 経鼻による上部消化管内視鏡検査開始 新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言発出により健診事業を休業とする
6月	健診センター 経鼻による上部消化管内視鏡検査開始 健診センター 神戸市国民健康保険加入者対象のセット健診（特定健康診査とがん検診）開始 健康ライフプラザ健診センター 神戸市国民健康保険加入者対象の健康教室（糖尿病、慢性腎臓病の重症化予防）開催業務開始	5月	緊急事態宣言解除
9月	南部前会長神戸市市民福祉顕彰市民福祉功労賞受賞	6月	健診事業再開 マルチスライスCT装置更新 健診センター上部消化管内視鏡検査室増設
11月	健診センター・健康ライフプラザ健診センター 協会けんぽ被扶養者対象のセット健診（特定健康診査とがん検診）開始	7月	神戸市民健診集団検診再開 ビジネス渡航者向けPCR検査及び証明書発行開始
2019年 1月 (平成31年)	神戸市認知症診断助成制度対応医療機関登録、認知機能検診開始	2021年 1月 (令和3年)	新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言発出（2回目）
		2月	緊急事態宣言解除
		3月	まん延防止重点措置実施（1回目）
		4月	神戸市けんしん案内センターで神戸市市民健診等WEB予約開始 まん延防止重点措置実施から、緊急事態宣言発出（3回目）へ

- 6月 会長 深谷 隆 就任  
X線骨密度測定装置（DXA）更新  
緊急事態宣言解除、まん延防止重点措置（2回目）へ
- 7月 まん延防止重点措置期間終了
- 8月 まん延防止重点措置実施（3回目）  
まん延防止重点措置実施から、緊急事態宣言発出（4回目）へ
- 9月 緊急事態宣言解除
- 10月 ビジネス渡航者向けPCR検査及び証明書発行終了
- 2022年 1月 まん延防止重点措置実施（4回目）  
(令和4年)
- 3月 まん延防止重点措置期間終了  
機関誌「あすの健康」連載「歴史を歩く」を改題した『神戸かいわい 歴史を歩く』（園田学園女子大学名誉教授田辺真人著・神戸新聞出版センター）を出版

---

# 創立50周年記念誌

2022年5月31日発行

発行人 深 谷 隆  
編集人 谷 川 亜有美  
50周年記念事業プロジェクト会議  
発行所 公益財団法人 兵庫県予防医学協会  
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1丁目8-1  
電話 078-855-2715  
印刷 株式会社パワーステーション

---

